

2024.1.2-1.3

第100回 箱根駅伝

arex
特別号



青学大と駒大
の2強でした

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	タイム
青学大	9位	2	1	1	1	1	1	1	1	1位	10:41:25
駒大	1位	1	2	2	2	2	2	2	2	2位	10:48:00

大会新記録

順位	大学名	コメント	
優勝	青山学院大学	「負けてたまるか大作戦！」で総合優勝。2.3.4.8.9区で区間賞を獲得。3区太田が駒大のエース佐藤を抑えたことが大きかった。2009年33年ぶりに箱根路に復帰した際は最下位だったチームが、今や強豪校に。	シード権獲得校
②	駒澤大学	圧倒的な強さを見せ2季連続学生駅伝3冠を狙うが惜しくも2位。1～3区に篠原、鈴木、佐藤の最強メンバーをそろえてきたが青学大を追う展開に。	
③	城西大学	「山の妖精」山本唯翔が5区で区間賞。過去最高順位の3位。	
④	東洋大学	継続中では最多の19年連続シード権獲得。チームカラーは「鉄紺」。	
⑤	國學院大学	1区17位からの2区平林清澄が8人抜き。前田監督は駒大出身（主将）。	
⑥	法政大学	復路山下り6区で3年生武田和馬が区間賞。往路9位・復路4位。	
⑦	早稲田大学	主力がインフルエンザで欠場するも2区で山口智規が8人抜き。	
⑧	創価大学	1区桑田大輔（4年生）が区間2位、6区川上翔太（1年生）が区間3位。	
⑨	帝京大学	予選会3位からのシード権獲得。往路12位から復路6位で巻き返した。	
⑩	大東文化大学	予選会1位。9年ぶりのシード権獲得。8.9区で11位だったが10区で10位に。	
⑪	東海大学	「復活の狼煙」をテーマに掲げたが、1分10秒差で3年連続シードに届かず。	次回予選会へ
⑫	国士舘大学	8年連続52回目の出場となるがシード権獲得ならず。来年は経験者8人が残る。	
⑬	中央大学	総合優勝を期待されるも16人中14人が体調不良。エース吉居大和も区間15位。	
⑭	立教大学	駅伝強化計画を開始して以降、初めて4学年が揃う。指揮官不在の中大健闘。	
⑮	日本大学	4年ぶりの箱根は3区終了時で4位に。7人の経験者が残ったことが収穫。	
⑯	日本体育大学	往路21位だったが復路11位で16位まで順位を上げた。	
⑰	順天堂大学	前回5位からのシード落ち。往路10位で復路が22位。三浦龍司は区間10位。	
⑱	駿河台大学	監督は法政大学→日清食品グループで活躍した徳本一善氏。予選会は12位。	
⑲	中央学院大学	予選会9位で2年ぶりの箱根。その時貢献した吉田礼志も2区で区間14位。	
⑳	明治大学	1区8位でスタートするも総合20位。それでも復路は8位の好走をみせる。	
㉑	神奈川大学	総合優勝2回の経験を持つ大後栄治監督が今大会で勇退。復路は16位。	
㉒	東京農業大学	スーパールーキー前田和摩（1年生）が故障で2区から7区へ。予選会は11位。	
㉓	山梨学院大学	往路15位も復路でまさかの23位。予選会は3秒差の13位で本線に滑り込む。	

各チームが数々のトラブルを乗り越えベストを尽くす姿に、知れば知るほど応援したくなる箱根駅伝です。

